

2024年度第1回福島競馬特別レース名解説

<第1日>

○ ひめさゆり賞

ひめさゆりは、日本特産のユリ科の多年草。別名「オトメユリ」。主に東北地方の一部に群生し、国の準絶滅危惧種に指定されている。5月頃から薄桃色の六弁花を咲かせる。花言葉は「飾らぬ美」「純潔」。

○ 花見山特別

花見山（はなみやま）は、福島市にある公園の名称。「福島に桃源郷あり」と称された同地は、個人の花弁（かき）栽培農家が長年の歳月をかけてつくり上げた。特にサクラとハナモモの花が咲く春の風景は圧巻で、全国から多くの観光客が訪れる。

○ 吾妻小富士ステークス

吾妻小富士（あづまこふじ）は、福島市南西部に位置する標高1,707mの山。吾妻連峰のひとつ。頂上には外周約1.5kmにも及ぶ巨大火口が広がっている。西の中腹を磐梯吾妻スカイラインが通り、東山麓には微温湯（ぬるゆ）温泉がある。一帯は磐梯朝日国立公園に属している。

<第2日>

○ 喜多方特別

喜多方（きたかた）は、福島県北西部の市。喜多方ラーメンや宮古そばが有名であり、座敷蔵、酒蔵などの蔵が点在する「蔵の街」としても知られている。

○ やまびこステークス

やまびこは、山や谷間などで音が反射して返ってくる現象。また、東京と盛岡を結ぶ東北新幹線の呼称としても知られる。

○ モルガナイトステークス

モルガナイト（Morganite）は、緑柱石のうち主にピンクの色調をした宝石で4月の誕生石。ピンクベリルとも呼ばれる。20世紀初頭にマダガスカルで発見され、現在はブラジルが主な産出地となっている。

<第3日>

○ 雪うさぎ賞

雪うさぎは、雪解けの頃に吾妻小富士の山肌に出来る、うさぎの形の雪渓のこと。昔から地元の農家の人々は、この「雪うさぎ」が見えるようになると種まきを始めたことから、「種まきうさぎ」とも呼ばれ、福島に春を告げるシンボルとして親しまれている。

○ 桑折特別

桑折（こおり）は、福島県伊達郡の町。仙台伊達家発祥の地で、中心街は奥州街道と羽州街道の分岐点にあたる宿駅として発展した。また、『菊花賞』・『天皇賞（春）』・『宝塚記念』などを制したビワハヤヒデの生まれ故郷としても知られている。

○ ラジオ福島賞

ラジオ福島は、福島県福島市に本社を置くラジオ局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第4日>

○ 医王寺特別

医王寺（いおうじ）は、福島市飯坂町にある寺院。真言宗の名刹で、開祖は空海と伝えられている。境内には、源平合戦において源義経の身代わりとなり、壮絶な最期を遂げたとされる佐藤継信・忠信兄弟の墓がある。

○ 奥の細道特別

奥の細道（おくのほそみち）は、松尾芭蕉著の俳諧紀行。1689年（元禄2年）5月16日（旧暦3月27日）に門人河合曾良を伴い江戸深川を出発し、福島をはじめとする奥州各地を行脚した。その後、北陸の諸地を巡り、美濃から伊勢路に入ろうとした旧暦9月6日までの600里（約2,400km）、約150日余の紀行が記されている。

○ 福島民報杯（L）

福島民報社は、福島県福島市に本社を置く新聞社。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 浄土平特別

浄土平（じょうどだいら）は、福島市南西部の標高約 1,600m に位置する湿原。福島市と磐梯高原を結ぶ磐梯吾妻スカイラインの中間に位置する。東に吾妻小富士、北に一切経山を臨み、観光の基点となっている。

○ 尾瀬特別

尾瀬（おぜ）は、群馬・福島・新潟・栃木の 4 県にまたがって広がる、尾瀬沼や尾瀬ヶ原を中心とする地域。燧ヶ岳（ひうちがたけ）、至仏山などを含み、尾瀬国立公園を形成している。貴重な植物や動物が多く存在することから、学術上の宝庫といわれ、この地域全体が国の特別天然記念物に指定されている。

○ 福島牝馬ステークス（GⅢ）

本競走は、2004 年に創設された重賞競走。牝馬の出走機会を広げ、牝馬路線の充実を図るという観点から創設された。なお、第 1 着馬には同年の『ヴィクトリアマイル』への優先出走権が与えられる。

<第6日>

○ 燧ヶ岳特別

燧ヶ岳（ひうちがたけ）は、福島県南会津郡に位置する標高 2,356m の山。東北地方最高峰。尾瀬国立公園に属し、日本百名山に選ばれている。

○ 飯盛山特別

飯盛山（いいもりやま）は、福島県会津若松市に位置する標高 314m の山。戊辰戦争の際、会津藩白虎隊士 19 名が自刃した場所として知られている。墓前では年 2 回慰霊祭が開かれるほか、山の中腹には、世界的にも珍しい建築様式でつくられた栄螺（さざえ）堂がある。

○ 福島中央テレビ杯

福島中央テレビは、福島県郡山市に本社を置く放送局。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。